

	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
絆 ~ 公共交通からのコミュニティ ~		宇都宮大学地域計画学研究室	
		丸山 健太	宇都宮大学大学院 工学研究科
		指導教員 氏 名	森本 章倫

1 . 提案の要旨と目標

今日の我が国において、少子高齢化の進展や家族形態の変化によって人々の交流の場、つまりコミュニティの喪失が懸念されている。さらに、宇都宮市は自動車に依存した都市形態をしているためドア to ドアが広まり、より一層コミュニティの場が減少している。また、車社会の弊害として慢性的な交通渋滞も深刻化している。そこで、私たちはコミュニティの創出や渋滞緩和を図ることのできる公共交通の新しい利用方法を提案する。

今回の提案の目標としては、公共交通が人々の交流の場として活用されるような利用方法を提案することで、コミュニティの創出を図ることである。さらに、モーダルシフトによりバスなどの公共交通を有効に活かすことで、慢性的な交通渋滞の解消を図る。